

2 費目別指数の動き

2-1 食料

食料は101.2となり、前年に比べ1.2%の上昇となった。

果物が10.7%、魚介類が2.9%、菓子類が2.7%、外食が2.3%、調理食品が1.3%、穀類が0.7%の上昇となった。

一方、野菜・海藻と油脂・調味料が0.3%、飲料が0.6%、酒類が1.0%、肉類が1.8%の下落となった。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介が3.0%、生鮮野菜が0.1%、生鮮果物が10.8%の上昇となったことから、生鮮食品全体では3.3%の上昇となった。

表4 食料の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
食料	3.2	0.6	1.2
穀類	-1.4	-5.1	0.7
魚介類	3.3	-2.8	2.9
肉類	5.7	-2.9	-1.8
乳卵類	4.0	3.1	0.1
野菜・海藻	6.2	4.2	-0.3
果物	-1.5	3.0	10.7
油脂・調味料	2.0	0.1	-0.3
菓子類	2.2	2.0	2.7
調理食品	5.6	1.4	1.3
飲料	-0.9	2.2	-0.6
酒類	-0.7	-1.6	-1.0
外食	4.6	3.6	2.3
生鮮食品	6.0	1.8	3.3
生鮮魚介	5.2	-4.0	3.0
生鮮野菜	10.6	6.3	0.1
生鮮果物	-1.7	2.7	10.8

図7 食料指数の月別の動き

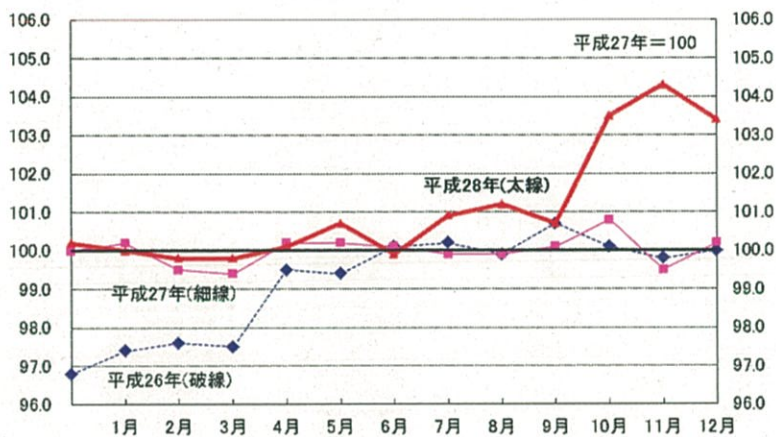


図8 生鮮食品指数の月別の動き

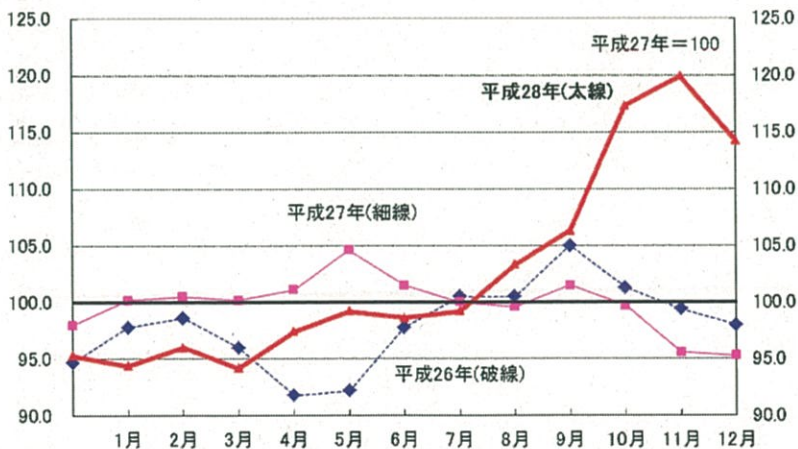


図9 生鮮魚介指数の月別の動き

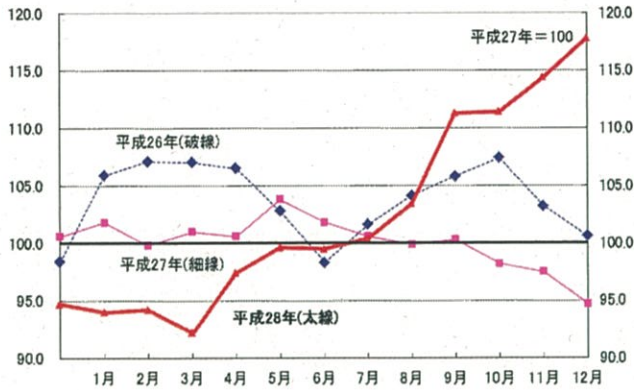


図10 生鮮野菜指数の月別の動き

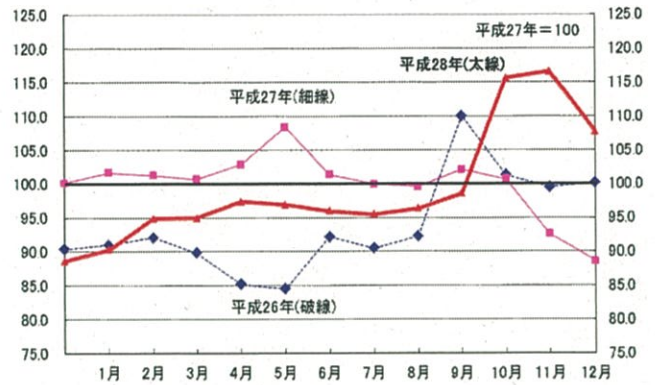
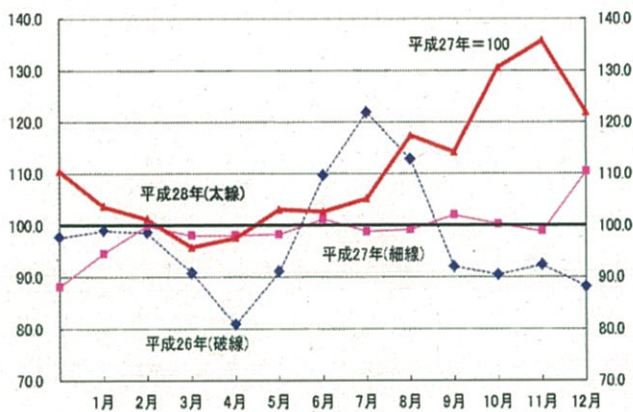


図11 生鮮果物指数の月別の動き



2-2 住居

住居は100.6となり、前年に比べ0.6%の上昇となった。

内訳をみると、家賃が0.0%の同水準、設備修繕・維持が3.2%の上昇となった。

なお、持家の帰属家賃を除く家賃は0.1%の下落となった。

図12 住居指数の月別の動き

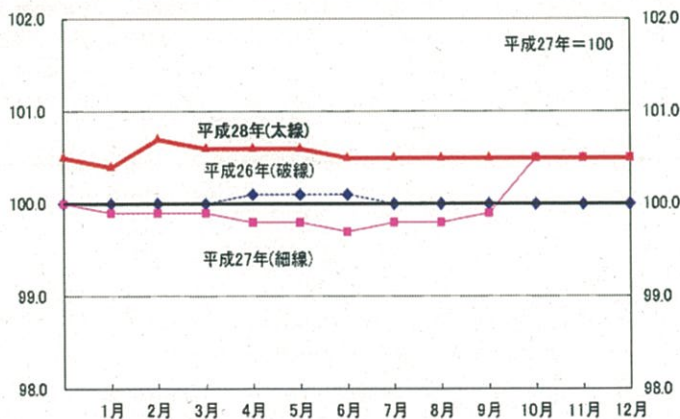


表5 住居の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
住居	0.0	-0.1	0.6
家賃	-0.1	-0.3	0.0
設備修繕・維持	1.1	3.5	3.2
持家の帰属家賃を除く住居	0.3	1.3	1.8
持家の帰属家賃を除く家賃	-0.2	-0.2	-0.1

2-3 光熱・水道

光熱・水道は94.6となり、前年に比べ5.4%の下落となった。

内訳をみると、電気代が4.7%、他の光熱が23.8%、ガス代が8.9%の下落となった。

図13 光熱・水道指数の月別の動き

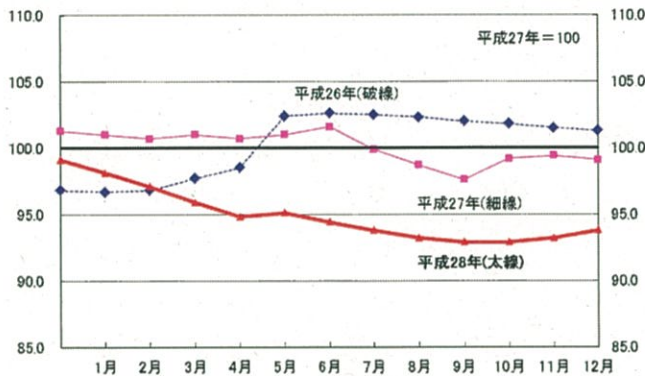


表6 光熱・水道の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
光熱・水道	7.1	-0.5	-5.4
電気代	9.2	1.0	-4.7
ガス代	6.5	-1.8	-8.9
他の光熱	4.9	-20.8	-23.8
上下水道料	2.0	1.0	0.0

2-4 家具・家事用品

家具・家事用品は100.7となり、前年に比べ0.7%の上昇となった。

内訳をみると、寝具類が5.7%、家事雑貨が4.6%、家事サービスが27.3%の上昇となった。

一方、家庭用耐久財が12.6%、室内装備品が12.0%の下落となった。

図14 家具・家事用品指数の月別の動き

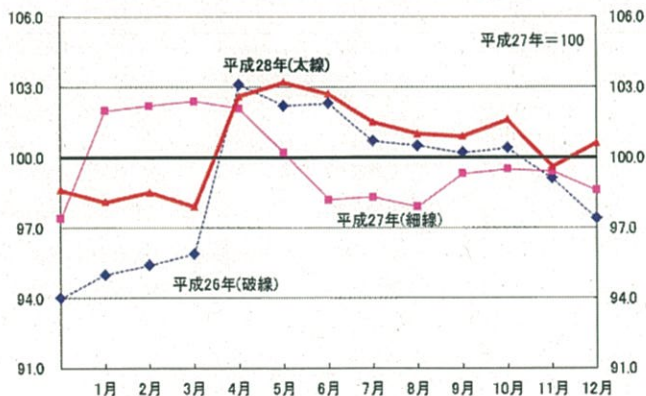


表7 家事・家具用品の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
家具・家事用品	5.1	0.6	0.7
家庭用耐久財	7.0	0.2	-12.6
室内装備品	2.7	-0.7	-12.0
寝具類	3.6	7.0	5.7
家事雑貨	7.3	3.9	4.6
家事用消耗品	4.1	-1.8	0.1
家事サービス	1.8	-0.4	27.3

2-5 被服及び履物

被服及び履物は103.5となり、前年に比べ3.5%の上昇となった。

内訳をみると、シャツ・セーター・下着類が6.4%、衣料が3.4%、他の被服が3.2%の上昇となった。

一方、履物類が0.7%の下落となった。

なお、シャツ・セーター・下着類のうちではシャツ・セーター類が7.2%、衣料のうちでは洋服が3.5%、和服が2.4%の上昇となった。

図15 被服及び履物指数の月別の動き

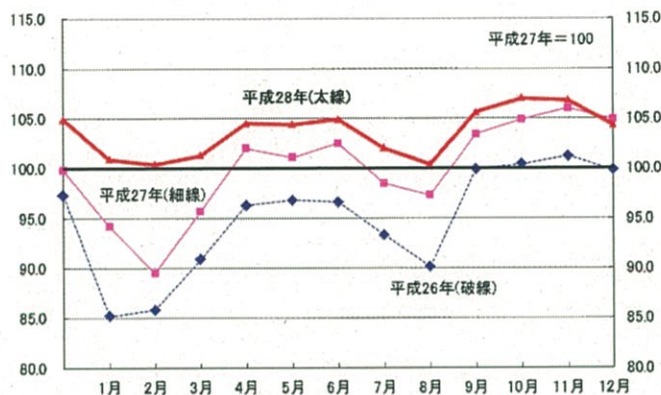


表8 被服及び履物の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
被服及び履物	3.8	5.6	3.5
衣料	4.7	6.8	3.4
和服	-1.9	6.5	2.4
洋服	5.0	6.8	3.5
シャツ・セーター・下着類	4.2	8.6	6.4
シャツ・セーター類	2.3	10.7	7.2
下着類	8.6	3.9	4.3
履物類	0.1	-2.5	-0.7
他の被服類	3.7	2.2	3.2
被服関連サービス	3.6	0.5	0.0

2-6 保健医療

保健医療は101.3となり、前年に比べ1.3%の上昇となった。

内訳をみると、保健医療用品・器具が3.5%、保健医療サービスが1.2%の上昇、医薬品・健康保持用摂取品が0.0%の同水準となった。

図16 保健医療指数の月別の動き

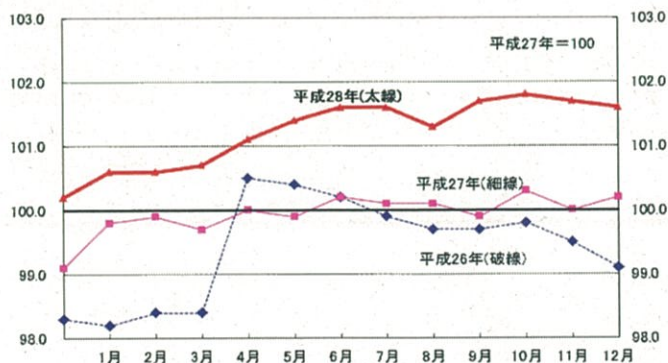


表9 保健医療の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
保健医療	0.9	0.5	1.3
医薬品・健康保持用摂取品	1.8	0.1	0.0
保健医療用品・器具	-0.9	0.6	3.5
保健医療サービス	0.8	0.7	1.2

2-7 交通・通信

交通・通信は97.9となり、前年に比べ2.1%の下落となった。

内訳をみると、原油価格の下落に伴うガソリンの値下がり等により自動車等関係費が3.0%の下落となった。交通も0.2%、通信も0.9%の下落となった。

図17 交通・通信指数の月別の動き

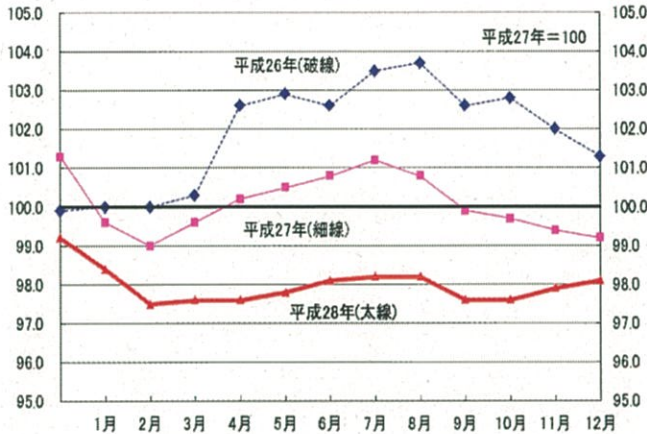


表10 交通・通信の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
交通・通信	2.5	-2.0	-2.1
交通	5.5	3.0	-0.2
自動車等関係費	2.4	-4.4	-3.0
通信	1.2	0.5	-0.9

2-8 教育

教育は102.7となり、前年に比べ2.7%の上昇となった。

内訳をみると、補習教育が3.7%、授業料等が2.3%、教科書・学習参考教材が0.4%で、いずれも上昇となった。

図18 教育指数の月別の動き

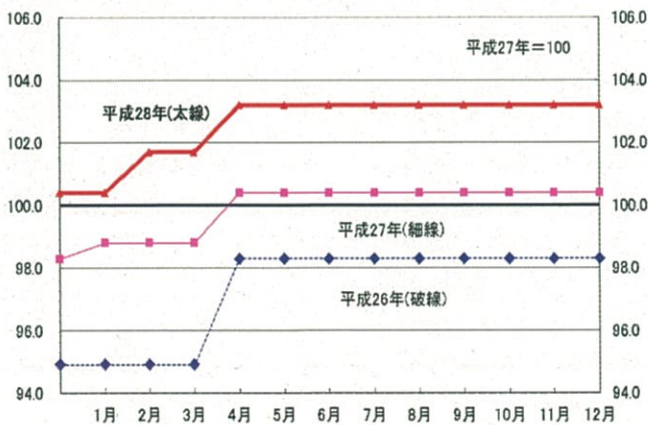


表11 教育の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
教育	3.1	2.6	2.7
授業料等	1.7	2.6	2.3
教科書・学習参考教材	2.2	1.2	0.4
補習教育	5.0	2.6	3.7

2-9 教養娯楽

教養娯楽は100.9となり、0.9%の上昇となった。

内訳をみると、教養娯楽用品が1.7%、教養娯楽サービスが0.9%、書籍・他の印刷物が0.2%の上昇となった。

一方、教養娯楽用耐久財が0.6%の下落となった。

図19 教養娯楽指数の月別の動き

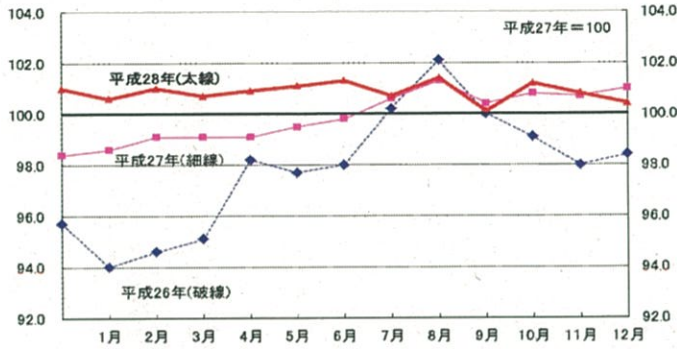


表12 教養娯楽の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
教養娯楽	4.0	2.1	0.9
教養娯楽用耐久財	4.5	3.1	-0.6
教養娯楽用品	5.9	3.8	1.7
書籍・他の印刷物	2.3	1.1	0.2
教養娯楽サービス	3.6	1.5	0.9

2-10 諸雑費

諸雑費は100.5となり、前年に比べ0.5%の上昇となった。

内訳をみると、他の諸雑費が1.3%、たばこが1.2%、理美容用品が0.1%の上昇となった。
一方、身の回り用品が0.4%の下落となった。

図20 諸雑費指数の月別の動き

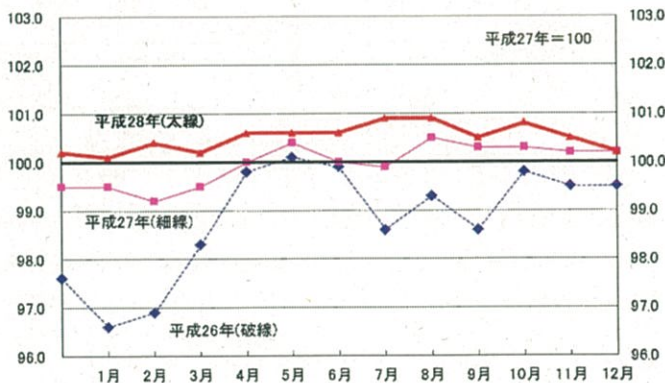


表13 諸雑費の中分類別前年比の動き

項目	26年	27年	28年
諸雑費	3.2	1.1	0.5
理美容サービス	1.1	0.4	0.0
理美容用品	1.4	2.7	0.1
身の回り用品	5.0	2.0	-0.4
たばこ	3.2	1.0	1.2
他の諸雑費	5.5	0.1	1.3